

鎌倉市SDGsつながりポイント かわら版

鎌倉市SDGsつながりポイントは、鎌倉市で導入されている人と人をつなげるコミュニティ通貨です（「まちのコイン」というアプリを利用します。コインの単位は「クルツポ」）。このかわら版では、鎌倉市SDGsつながりポイントを通じて地域の人と仲良くなった！という体験をお伝えします。

今回ご紹介するのは、坂の下にあるゲストハウス「楽庵」を運営する川村貫太さん。川村さんは2021年秋に鎌倉に移住しました。まちを歩くと、通りすぎる人たちが気さくに「かんちゃん！」と話しかけているのが印象的。移住して半年足らずと思えないほど、地元へ溶け込んでいく川村さんは、引越してすぐから、クルツポも利用しているのだ。



移住して早くも地元へ溶け込んだ川村さん

はじめて利用したのは、鎌倉ビール醸造の「うちのビールを取り扱ってくれたら1192クルツポ差し上げます」。「クルツポをもらいに来たんです！」が良い言い訳になり、はじめての場所でも人に声をかけやすくなったそうです。

それ以来、仕事の空き時間にまちのコインのアプリを手に、さまざまな体験をしに出かけるようになり、地元の人たちとのつながりが広がっていきました。

「クルツポを利用する際は、必ずお店のスタッフさんと会話をするきっかけが生まれます。その会話を通して、スタッフさんと仲良くなることのできるんです。また、改めてそのお店に行くスタッフさんから話しかけてくれるようになりました。2回目の来店にも関わらず常連さんのような関係性が築くことができている心地が良い」と言う川村さん。

近所の流木工房のオーナーに毎週末挨拶がてらチェックインをしに行ったり、POMPON CAKESでマイボトルを持参してちよつと多めにコーヒーを注いでもらうなど、毎日の生活の中でクルツポを利用していきます。

特に魅力を感じた体験は、朝食屋COBAKABAの店主UPPONさんとの鎌倉まち歩き。UPPONさんのマニアックなガイドが楽しかったことや、参加した他の方と知り合えたことが印象的だったそうです。

年末には、鎌倉美学の大掃除をお手伝いしたり、安国論寺で生まれて初めて除夜の鐘をつきました。これらの体験を通じて知り合った人たちとの交流のなかで、

川村さんのおすすめ体験



POMPON CAKES でのチェックインが日常的に



朝食屋COBakaba店主UPPONさんのお散歩企画

これまで興味のなかったごみの削減やフードロス削減への意識も高くなったそうです。

鎌倉を知ったり、人とつながることができるので、移住者にはぜひおすすめしたいという川村さん。運営するゲストハウス楽庵も加盟スポットになっているので、訪れてみては。